

秦野市



弘法山展望台



秦野の里山(名古屋木の棚田)

伊勢原市



大山寺の紅葉



日向の彼岸花



秋の震生湖



葛葉川本谷の渓流



浜田川の芝桜



大山火祭新能

秦野市伊勢原市環境衛生組合

〒257-0031 秦野市曾屋4624番地 TEL0463 (82) 2500
0463 (82) 2502

施工監理 一般財団法人 日本環境衛生センター

〒210-0828 神奈川県川崎市四谷上町10-6 TEL044 (288) 4896

設計・施工

Hitz 日立造船株式会社
Hitachi Zosen

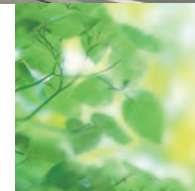
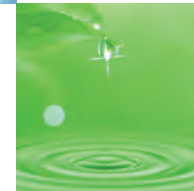
〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目26番3号 TEL03 (6404) 0800
(大森ベルポートD館15階)

はだのクリーンセンター

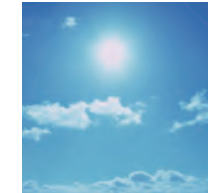
H A D A N O
C L E A N
C E N T E R



HADANO
CITY



ISEHARA
CITY



秦野市伊勢原市環境衛生組合

ごあいさつ



秦野市伊勢原市環境衛生組合
組合長(秦野市長)

古谷 義幸



秦野市伊勢原市環境衛生組合
副組合長(伊勢原市長)

高山 松太郎

秦野市伊勢原市環境衛生組合は、秦野市及び伊勢原市のごみ処理など、環境行政の一端を担う一部事務組合として昭和36年5月に発足し、以来50年を超える歳月を両市市民の皆様の変わらぬご理解とご支援のもとで歩んでまいりました。そして今新たな清掃工場「はだのクリーンセンター」が本組合の歴史に加わります。

この施設は老朽化が進む伊勢原清掃工場の180トン／日施設に替わる清掃工場として、平成9年7月に建設用地の選定を秦野市に依頼したことにより建設計画がスタートしました。以後、地元の皆様との話し合いが続けられ、その過程において建設用地を変更した経緯などもありました。また、県条例に基づく環境アセスメントによる調査、予測評価を行うなど、長い時間が経過しましたが、地元の皆様にも一定のご理解を頂き、平成22年11月、建設工事に着手いたしました。その後、基礎工事の工法変更や東日本大震災の影響などにより工期延長を余儀なくされましたが、着工から2年余の歳月を経てこの度無事に完成の運びとなりました。ここに至ることができたのは、多くの関係者のご尽力と、何よりも地元住民の皆様の多大なるご理解とご協力の賜物であります。改めて心から感謝申し上げます。

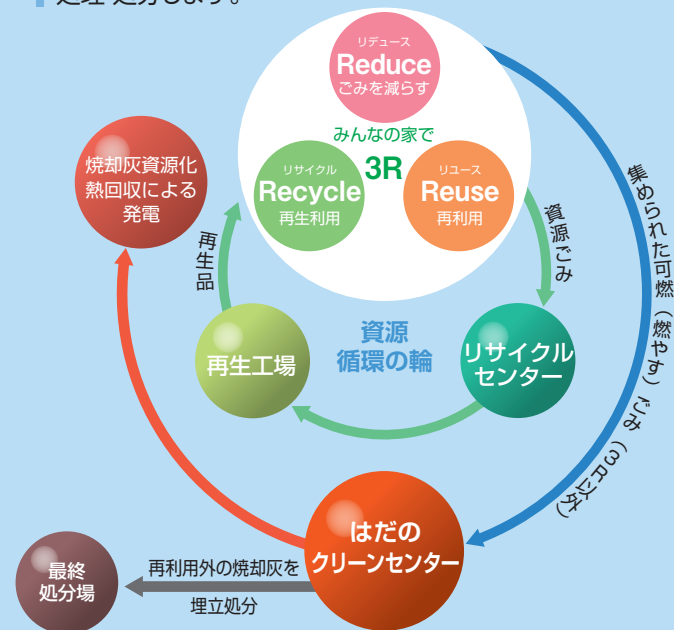
はだのクリーンセンターは、最新の技術を導入した燃焼管理、排ガス処理や臭気対策に万全を期するほか、プラント排水の施設内再利用など、周辺の生活環境や自然環境の保全に最大の配慮を図っております。また、焼却の際に発生する熱エネルギーを有効利用し、高効率な発電を行うなど、循環型社会に適応し、地球環境にも優しい機能を備えた施設であります。ぜひ多くの皆様にご来場いただき、環境学習の場としても活用してくださることを願っております。今後の施設運営にあたりましては、安全・安心の確保を最優先し、誰からも信頼され、地域と共存・融和した施設になるよう本組合職員一丸となって誠心誠意取り組んでまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年1月

快適な生活環境を守るために「はだのクリーンセンター」は安全・安心なごみ処理を進めます。



はだのクリーンセンターに運びこまれた可燃(燃やす)ごみは、システム化されたごみ処理工程を経て、安全に効率よく処理・処分します。



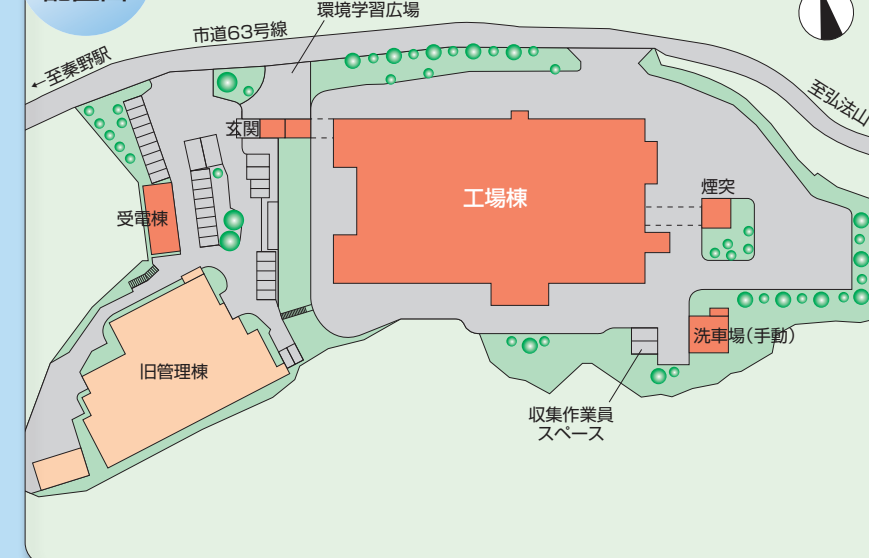
施設概要

施設名称：はだのクリーンセンター
所在地：秦野市曾屋4624番地
処理方式：ストーカ式焼却
処理能力：焼却炉 200t/日(100t/日×2炉)

基本方針

- ・人と環境に優しい安心、安全な施設
- ・弘法山公園と調和した施設
- ・ごみの持つエネルギーを有効利用できる施設
- ・資源循環型社会のシンボルとなる施設

敷地配置図



はだのクリーンセンターのごみ処理の流れ

1日200トンのごみを焼却処理することができます。

- ・法定より厳しい排ガス自主規制値を設定し、周辺への影響を抑えます。
- ・ごみの焼却により発生する熱を有効に活用し、発電を行います。

設備概要

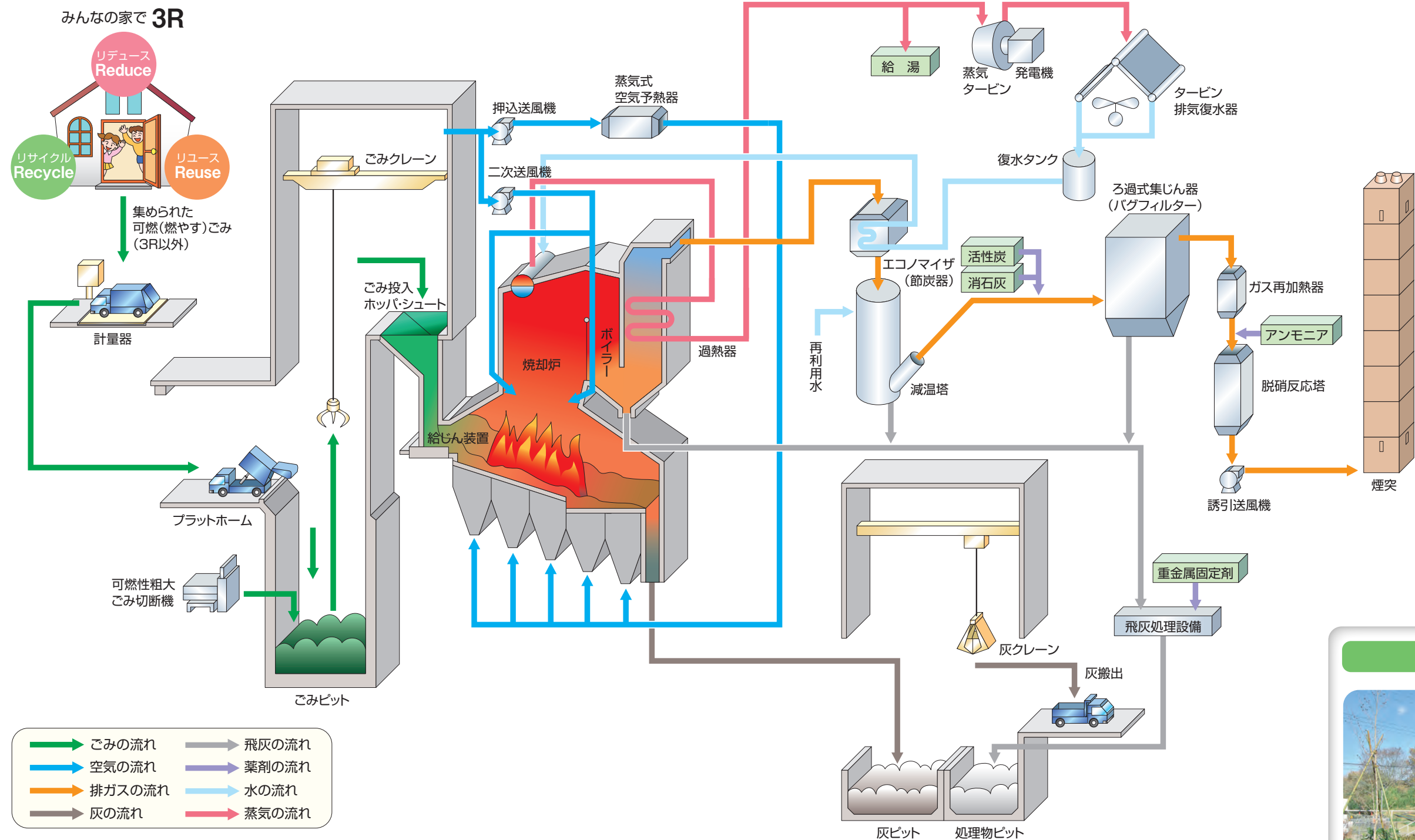
受入・供給設備：ピット&クレーン方式
 燃 焼 設 備：全連続燃焼式ストーカ式
 焼却炉
 燃焼ガス冷却設備：全ボイラー方式
 排ガス処理設備：ろ過式集じん器+有害ガス
 除去設備+触媒脱硝設備
 余熱利用設備：蒸気タービン発電
 (3,820kW)、給湯
 通 風 設 備：平衡通風方式
 灰出し設備：薬剤混練処理
 給 水 設 備：上水、井水
 排水処理設備：プラント排水/
 凝集沈殿+ろ過処理
 +場内再利用
 生活排水/下水道放流
 電 気 設 備：特別高圧受電
 (66kV 2回線)
 計 装 設 備：集中管理方式

●排ガス自主規制値(酸素濃度12%換算値)
 ば い じ ん：0.01g/m³N以下
 (0.04g/m³N以下)
 硫 黄 酸 化 物：30ppm以下
 (K値=11.7(約3,200ppm))
 塩 化 水 素：30ppm以下
 (430ppm以下)
 窒 素 酸 化 物：50ppm以下
 (250ppm以下)
 ダイオキシン類：0.05ng-TEQ/m³N以下
 (0.1ng-TEQ/m³N以下)
 水 銀：0.05mg/m³N以下
 (—)
 ()内は法定値を示します。

環境学習広場



はだのクリーンセンターの玄関の横には、「環境学習広場」を設け、弘法山の野鳥や植物などを説明するパネルの展示や焼却灰の再生材などを紹介しています。弘法山公園などを訪れる方々の休憩スペースとしても利用できます。



ごみの流れ

収集したごみは計量した後、プラットホームからごみピットへ投入します。ごみピットのごみは、ごみクレーンにより焼却炉へ供給します。ごみは焼却炉で完全燃焼し、発生する灰は灰ピットに一時的に貯留した後、灰クレーンでトラックに積み込み、民間の資源化施設等へ送ります。

排ガスの流れ

焼却炉で発生した高温排ガスはボイラーで熱を回収した後、減温塔で冷却し、ろ過式集じん器や脱硝反応塔でダイオキシン類などの有害ガスの除去および適正な処理を行い、煙突から排出します。

蒸気の流れ

ボイラーでは、高温排ガスから回収した熱で蒸気を発生させます。発生した蒸気は蒸気タービンで発電に利用する他に給湯用熱源として利用します。蒸気タービンで利用した蒸気は、タービン排気復水器で冷やして水に戻し、循環再利用します。

最新鋭設備機器で安全・安心な処理を実現する焼却施設です。

受入供給設備

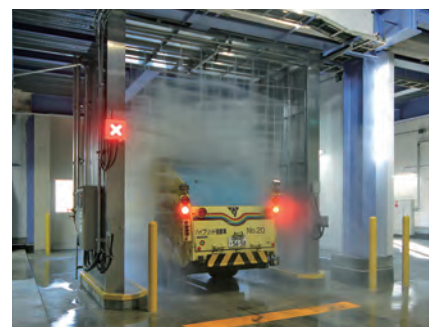


●ごみ計量器
搬入されるごみを計量し、コンピュータで集計します。



●プラットフォーム
搬入されたごみを、ごみピットへ投入します。

●自動洗車装置
収集車は自動洗車装置を通り退出します。



●ごみピット・ごみクレーン
ごみピットに投入したごみは、ごみクレーンでよく攪拌し、ごみホッパに投入します。ピットには7日分のごみをためることができます。

中央制御室



焼却炉の運転、ごみクレーン操作、公害対策機器の監視・制御などすべての管理を行っています。

焼却設備



●焼却炉
炉内に入ったごみは、850℃以上の高温で燃焼し、ごみの臭気成分も熱分解させます。

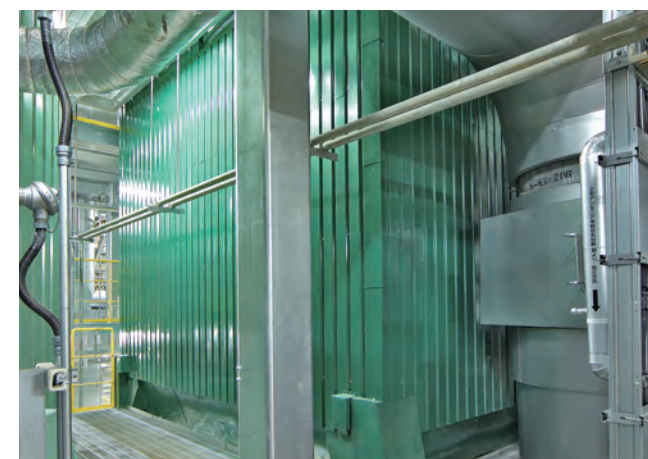
排ガス処理設備



●減温塔
排ガスを噴射水でろ過式集じん器の処理に適した温度まで冷却します。



●脱硝反応塔
窒素酸化物を無害な窒素と水に分解します。



●ろ過式集じん器
排ガス中の飛灰は、ろ過式集じん器で取り除きます。

灰処理設備



●飛灰処理設備
集じん器で捕集したダスト(飛灰)を薬剤処理して、ダスト(飛灰)の固化と安定化を図ります。

余热利用設備

ボイラーで発生した蒸気を利用して、最大3,820kWの発電を行います。



●ボイラー



●蒸気タービン発電機



●排ガス表示盤
放出される排ガス中の大気汚染物質の濃度を測定し、その結果を誰もがみることができるようにしています。